

氏名	大 倉 磯 治
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2469号
学位授与の日付	平成15年3月25日
学位授与の要件	医学研究科外科系産科婦人科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	The Relationship between Doppler Indices from Inferior Vena Cava and Hepatic Veins in Normal Human Fetuses (正常ヒト胎児における下大静脈と肝静脈のドプラ指標の関連性について)
論文審査委員	教授 大江 透 教授 梶谷 文彦 教授 白鳥 康史

学位論文内容の要旨

この研究の目的は下大静脈、右肝静脈、中肝静脈、左肝静脈のpreload index (心房収縮期逆流波最高血流速度/心室収縮期流入波最高血流速度) の妊娠週数に伴う正常値を設定することと、これら4つの血管間の妊娠週数に伴う、preload indexの回帰直線の傾きとy切片の関係について共分散分析にて検討することである。妊娠22週から40週の正常胎児316例において、これら4つの血管の超音波パルスドプラ法による血流速度波形の測定を行い、得られた波形からpreload indexを求めた。これら4つの血管のpreload indexの回帰直線は妊娠週数に伴い漸減し、その傾きは4つの血管の間において有意差を認めなかった。各肝静脈のy切片は下大静脈に比べ有意に大きかったが、その差は0.024から0.033と臨床的には小さい値であった。一方、各肝静脈のy切片には有意差は認めなかった。

以上より、いかなる妊娠週数においても各肝静脈のpreload indexは統計学的に同じであり、下大静脈のpreload indexとも極めて類似していた。

論文審査結果の要旨

本研究は、ヒト胎児における下大静脈と肝静脈の血流速度波形の測定から得られた preload index を用いてお互いの関連性について検討したものであるが、従来十分確立されていなかった肝静脈と下大静脈のドプラ指標の類似性について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。